

# ふくじ草の会 だより



園

6月23日、愛川町で4つの家族会(厚木市すみれ会・海老名市四つ葉のクローバー・座間市手をつなぐ介護者の会・愛川町福寿草の会)交流会が開かれました。  
お忙しい中参加して下さった来賓の方々、ボランティアで午後の部を盛りあげて下さった皆様、ありがとうございます。  
各会会員の方たちのほとんどが大変な介護の中、熱心に語り聞き、有意義な時を過ごせたのではないかと思います。  
家族の会の大切さを改めて感じられる一時でした。  
これからも、この輪を広げ、つながって行けたらうれしいです。

福寿草の会  
愛川町介護者の会  
第134号  
平成28年7月4日  
連絡先 愛川町社会福祉協議会  
TEL 046(285)2111

7月のつどいは  
21日(木) 木曜日です  
おまちがいなく!!  
午後1時半~3時

- 場所: 町福祉センター3階会議室
- 内容: 話し合い・情報交換
- ▶介護について関心のある方は、どなたでもご参加下さい。申し込み不要です

5月のつどいは総会でした  
会員15名が出席(20名中)。来賓として亀井高齢介護課長、関根社協事務局長が出席下さり、お祝い、励ましのお言葉をいただきました。  
討議事項は全て承認されました。

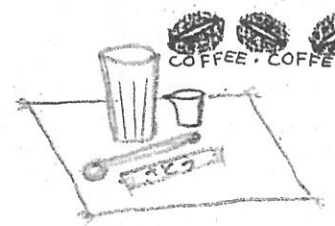
『認知症の人と家族の会』  
認知症介護者  
海老名のつどい  
7月20日(水)  
○午後1時半~3時半  
○場所 海老名市総合福祉会館 談話室

新入会員のご紹介  
ご主人を介護していらっしゃる大野静子さんが入会されました。よろしくお願ひします。

## 4つの家族会交流会・愛川町で

- ▷10時半、ひまわりとラベンダーの香り漂う中、5つのテーブルに分れて着席。前本副会長より開会の挨拶、続いて小沼会長からの挨拶と続きました。
- ▷来賓挨拶
  - 県保健福祉事務所 小笠原様  
心と身体の健康について、医療機関と地域住民の皆さんとの橋渡しをしていきます。
  - 町高齢介護課長 亀井様  
要支援の方々が、住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるよう、福祉行政の充実につとめたい。
  - 町社協事務局長 関根様  
一人で悩んでいる方を仲間に入れて、皆様の活動が地域の中に広がりますよう。

- ▷他に御参会いただいた方々
  - 公益社団法人認知症の人と家族の会 神奈川県支部 小宮様・高野様
  - 座間市社協 武本様・斎藤様
  - 清川村地域包括支援センター 佐藤様
  - 愛川町地域包括支援センター 朝日様
- ▷4つの家族会の現状報告
  - 各会とも、半数がOB(介護を終わった方)で、定例会の中では、介護中の方を中心に話し合い、情報交換をしている。
  - 気楽に話し合える、ホッとできる場、皆で作らう場である。
  - 老々介護・認知症介護が深刻である。
- ▷グループ毎の話し合いの中から
  - 同じ仲間、心あきなく話せて良かった。
  - 家族の会に参加して、精神的に救われた。



- デイ・サービスに送り出すまでが大変。行ってしまえば楽しんでいる。
- 夕方になると落ち着かなくなる。
- 77歳の夫。いつのまにか出かけてしまうので、玄関と部屋にセンサーをつけて、姿が映ると追いかけて、一緒に歩く。
- “受容と共感” 笑顔も失っているので反省。発想を転換すると楽しくなる
- 同居している義母と、別居の母と、2人が認知症で、自身の肉体的・精神的苦痛が限界 ⇒ 施設入所も考えたが？ 始めはみんな反対するけれど、結果的には良かった。
- 「今、ご苦労されていることが、後になると、ご自身の人生に戻ってきますよ」という言葉が身にしみた。
- 文書に書くことで、落ち着いて見られる。
- タッチケア。身体に触れることも気持ちをやわらげる。

▷午後の部、再現“認知症予防カフェ”  
NPO法人地域生活支援の会・あいの皆様(中川様・三井様・山田様)のご協力、食後のおいしいコーヒーをいただきながら、待望の手品タイムです。  
中山様の華麗なショーに始まり、井上様のケンちゃんをつれての軽妙なトークと手品。本格的な演技に喝采と爆笑に包まれました。  
高村様からは、輪ゴムを使った手品を、全員が覚えて帰れるように手とり足とり(?)。  
次に若い馬場様から、体と頭を使う体操に、一同、真剣に取り組んでいました。  
会員のお一人は、家で家族と、クーパー、クーパーとやったり、手品も楽しいと、大喜びされたそうです。  
最後に、童謡を歌い、散会となりました。  
参加して下さった皆様(全部で62名)、協力して下さいました。ありがとうございます。